

2020年9月10日号
No.22

対策本部ニュース

発行：全建総連コロナ対策本部
東京都新宿区高田馬場 2-7-15

第3回新型コロナ影響調査にご協力を

直近の実態をまとめて予算要求行動に活用

新型コロナウイルスによる組合員の仕事への大きな影響が続いています。直近の影響について第3回目となるアンケート調査を行い、実態をもとに基礎資料として、年末にかけての省庁要請、予算要求行動に活用していきます。

諸活動でご多忙の折に恐縮ですが、ご協力をよろしくお願いいたします。

1. 調査対象

事業主・一人親方、労働者

2. 調査・提出方法

下記のいずれかで組合員からアンケート調査をお願いします。

(1) 調査票による調査

- ・調査票は全建総連発第 60-216 号 (9月3日付) に添付されていますので、印刷して組織内に広く配付の上、該当項目に記入等をお願いします。

※全建総連発第 60-215 号 (9月2日付) に添付の調査票は使用しないでください (修正箇所あり)

- ・調査票を回収、とりまとめて、住宅対策部 (juutaku@zenkensoren.org) に提出してください。
- ・調査票個別のままでも、集計したものでも構いません。
- ・提出期限は9月25日(金)午前中です。

(2) ウェブによる調査

- ・全建総連ホームページ上の①調査ページアドレス (下記) または②QRコードを組織内で広報してください。

<https://kikimas.net/zenkensoren/answer/?no=57>

- ・組合員各自が直接、該当項目に入力します。(県連・組合での集約は不要)
- ・ウェブ回答ページの開設は9月25日(金)までです。



3. お問い合わせ先

- (1) 調査票による調査は住宅対策部
- (2) ウェブによる調査は賃金対策部

コロナ対策で木造の仮設病棟を建設 建設埼玉・埼玉土建から労供事業で従事

埼玉県では新型コロナウイルス感染症対策として、県内複数か所の病院や介護施設に仮設病棟が設置されることになりました。仮設病棟建設には、埼玉県が補助金を支出します。

そのうち埼玉県行田市の行田総合病院では、JBNの大野建設(株)が木造軸組工法の仮設病棟1棟6戸の建設を担うことになり、全国木造建設事業協会(全木協)の枠組みによる全建総連の労働者供給事業で建設埼玉、埼玉土建から4人の就労者が大工工事に携わることになりました。建設地は同病院の駐車場敷地内です。

着工は8月17日、全木協の枠組みによる4人の就労期間は9月7日から12日の6日間、竣工・引渡は9月末を予定しています。

9月7日の大工工事の就労開始日は、午前8時に朝礼の10分ほど前に新規入場手続きを行い、8時から朝礼。朝礼後は雨の降る中での初日でしたが、8時15分には現場監督の指示に基づいて作業に入りました。すでに棟上げは完了しており、当面の4人の作業は外壁工事になるとのことです。

9月11日の午後には、吉田委員長、建設埼玉・中村委員長、埼玉土建・斉藤委員長はじめ13人が視察・激励の予定です。



㊤新型コロナウイルス感染症対策の仮設病棟建設現場 ㊦雨の中で外壁工事を開始＝9月7日、埼玉県行田市

【新型コロナ関連の記事・写真を募集中】

「対策本部ニュース」では各県連・組合の対策活動や組合員の実態等を取り上げていきます。

原稿や写真を教宣部宛てにメール(E-mail: kyousen@zenkensoren.org)へ送付をお願いします。締切りはありませんので、随時受付をしています。